



草のよしだやかから版

2021年 9月号 VOL.34



まだまだ暑い日も続いていますが、朝晩の風に涼しさも感じられますね。秋の七草の一つ、オミナエシも咲き始めました。秋の七草は、「ハギ・キキョウ・クズ・フジバカマ・オミナエシ・オバナ・ナデシコ」、オバナはススキのことです。お家時間が増えている毎日ですが、少し万葉の気分で、秋の野花を探しながら歩くのも楽しいですね♪

お手入れの話:

庭木のお話

吉田 龍
ガーデニング専門学校
の講師をしております!



樹木の生産者さんは、「木には、山の木、植木、庭木があるんだよ」とおっしゃいます。自然の中にある山の木、お庭に植えられるように樹形や大きさを考えて生産する植木、お庭に植える庭木。庭という限られたスペースの中で健康で美しい庭木を保つには、庭木用の管理が必要です。定期的に剪定をすることで、樹形を整え、病害虫の発生を防ぎ、季節感のある豊かな空間を楽しむことができます。今の時期、ツゲ、コニファー類等は、すかし剪定（枝を間引く）の適期です。枝数を減らすことで風が抜けやすくなり、台風等の対策にもなります。

草取りのお話

無心になれる草取りは時には楽しいものですが（笑）、暑さや腰が辛い時もあり、出来るだけストレスの少ない作業にしたいものです。

雑草（ほんとは名前があるのに、ごめんなさい!）を減らすには、小さなうちに抜き取り、成長させないようにします。大きくなってしまった場合は、タネを落とさないことで来年の雑草を減らすようにします。いきなり草をつかんで抜き取ると、穂からタネが沢山落ちてしまうので、先に穂の部分だけをハサミで回収してしまうのもおすすめです。

また、グランドカバープランツを（低木や常緑多年草）植えたり、ウッドデッキ、砂利やレンガ等でお手入れの空間を区切ることで、土壌の露出面を減らし、お庭を管理しやすく楽しむことも出来ます。

